

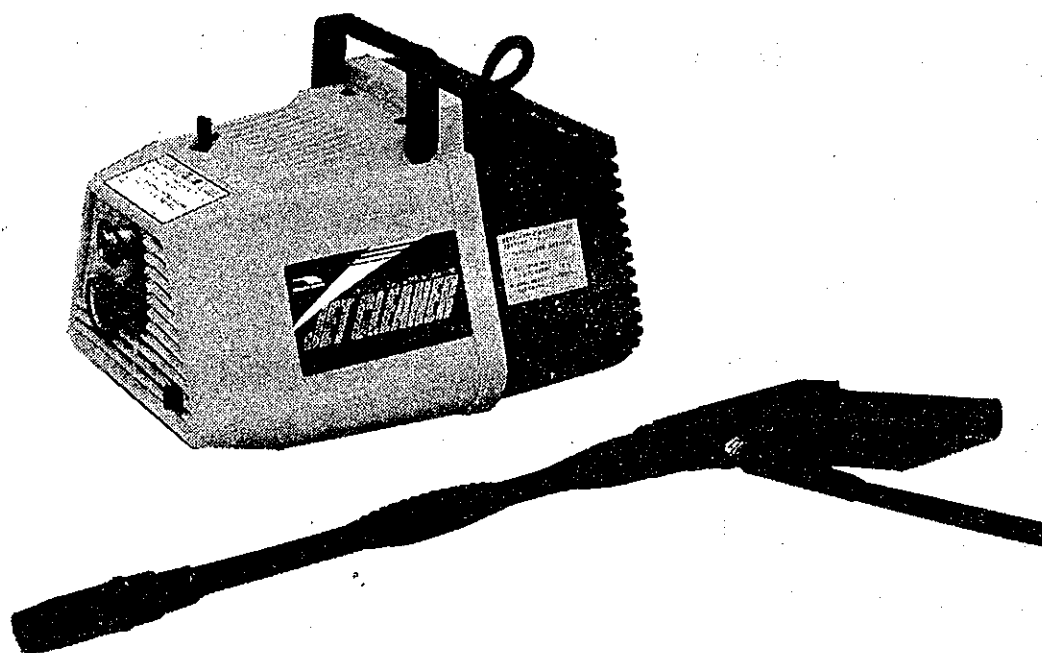


オリエンタル コーポレーション

HI-PRESSURE WASHING MACHINE

高圧洗浄機

JET CLEANER



INDEX

1. 安全上の注意..... 1・2
2. 主な用途と各部の名称..... 3
3. ご使用になる前に..... 4
4. 使用方法..... 5~12
5. 洗浄剤の噴射方法..... 13
6. 使用後の注意とその他の注意..... 14・15
7. 保管方法..... 16
8. 故障と処置..... 17
9. パーツリスト..... 19・20
10. アフターサービスについて..... 21

このたびは、当社製品 JC-2 高圧洗浄機をお買上げ頂き誠に有難うございます。

製品がお手元に届きましたら直ちに次の点を確認して下さい。

- ・機種は、御注文通りのものか.....
- ・輸送中の事故で、破損していないかどうか.....
- ・付属品が全部そろっているかどうか.....

もしも、不具合な点がありましたら、型式と共に御購入された販売店へお知らせ下さい。

注意！

50Hz・60Hz 用がありますので御注意下さい

ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。又、お読み頂いた後も大切に保管して下さい。

株式会社 **工進**

保証書付

御使用前には必ずお読み下さい。

故障の際は必ず最寄りの指定サービス工場（裏面参照）で修理依頼して下さい。

1. 安全上の注意



警告



修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造はおこなわないで下さい。発火したり、異常動作してけがをする事があります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
又、濡れた手で抜き差ししないで下さい。感電やけがをする事があります。



アースを確実に取付、専用の漏電遮断器を設置して下さい。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アース工事は必ず販売店に依頼して下さい。



配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行って下さい。
誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。



ポンプカバーをはずしたまま使用しないで下さい。ほこりや絶縁劣化等で感電の恐れがあります。



電源プラグは刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふいて下さい。火災の原因になります。



発火の恐れあり
定格15A以上のコンセントを単独で使用して下さい。他の器具と併用する分岐コンセント部が異常発熱して発火する事があります。



使用後は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。



ノズルは絶対に人に向けしないで下さい。高圧水流によりケガをします。



このポンプは、水道水専用です。油や薬剤・溶剤等は絶対に使用しないで下さい。火災やケガの原因になります。



注 意



長期間ご使用にならない時は必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
絶縁劣化による感電や漏電の原因になります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないで下さい。又、重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



空運転（ポンプに水のない状態での運転）はしないで下さい。ポンプの破損の原因になります。



ポンプに毛布や布等をかぶせたり、ポンプカバー内に燃えやすいものを入れないで下さい。加熱して発火する事があります。



運転中や運転直後は、ポンプカバー内の部品に触れないで下さい。
高温になっていますので、火傷をする恐れがあります。



電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いて下さい。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないで下さい。感電・ショート・発火の原因になります。



水につけたり、水をかけたりしないで下さい。感電や漏電の原因になります。



交流100V 以外では使用しないでください。火災・感電の原因になります。



本体内部に手を入れないで下さい。感電の恐れがあります。



運転中は本体に衝撃を与えないで下さい。感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。



動かなくなったり、異常がある場合は事故防止のため、直ちに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検修理を御依頼下さい。
そのまま使用されますと、感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

2. 主な用途と各部の名称

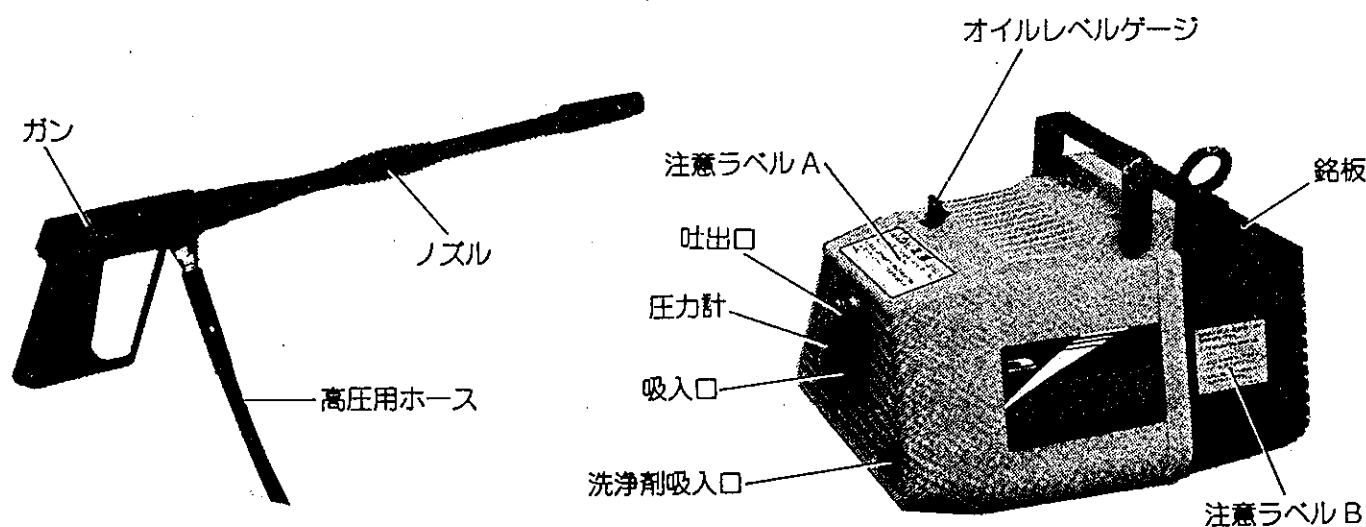
■用途

- 車・バイクの洗浄、泥落とし。
- 建機・農機の洗浄、泥落とし。
- 厨房・畜舎の洗浄。
- その他あらゆる洗浄に適しています。

■仕様

噴射時圧力	60kgf/cm ² (高圧時)
噴射時水量	7ℓ/min
電 源	家庭用 AC100V
定格消費電力	1.4kw
定格電流	13A
最高吸入水温度	45℃
標準オイル量	200cc
使用オイルグレード	SAE20~30 (ISO VG49~100)
製品重量	16kg (本体のみ) 18kg (ノズルガン・ホース含む)
製品寸法 (長さ×幅×高さ)	250×370×230mm
適合吸入ホース	内径15mm (耐圧用)
標準附属品	ノズルガン 一式 高圧用ホース 8m ワンタッチカップリング (フィルター付) ホースバンド 1ヶ ノズルスクリー用レンチ 1ヶ

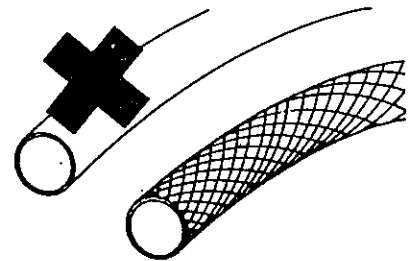
■各部の名称



3. ご使用になる前に

- ①製品には50Hz用と60Hz用がありますので、ご使用になる地域の周波数と合っているか確認して下さい。
- ②空運転は絶対にしないで下さい。水を吸わない状態で運転されますとポンプが傷みます。
- ③電源に電源コードを接続する前にアース線（緑色）は必ず接地（アース）して下さい。又、万一の漏電事故を未然に防ぐ為に漏電ブレーカーを取り付けるようにして下さい。
- ④電源には15Aヒューズが取り付けられている事を確認して下さい。
- ⑤水道水以外は、使用しないで下さい。
- ⑥モーター保護の為、一定温度以上になるとモーターを停止させる回路（サーマルプロテクター）が内蔵されています。停止した場合には、スイッチを切ってモーターが冷えてから再指導して下さい。（10～15分を目安として下さい。）
- ⑦この商品の消費電力は、1400Wです。分岐配線をしたり、他の電気製品と同時に使用されますと、ヒューズ切れや、ブレーカー切れを起こす恐れがありますので、ご注意下さい。

- ⑧吸入ホースは、編み込みの入ったホース（ブレードホース）で内径15mmのものを使用して下さい。他のホースを使用されますと、ホースが屈曲により、水の吸い込みが悪くなったり、ホース径が合わない為に水洩れが発生したりします。



- ⑨延長ケーブルをご使用になる場合は、次の点にご注意下さい。

右記以外のコードを使用されますと、電圧降下による過電流により、作動不良・ヒューズ切れ・コード発熱などが起こります。

家庭用には 0.529くらい

延長コード長さ	延長コード太さ
10m まで	2mm ² 以上
25m まで	3.5mm ² 以上
25m 以上	延長不可

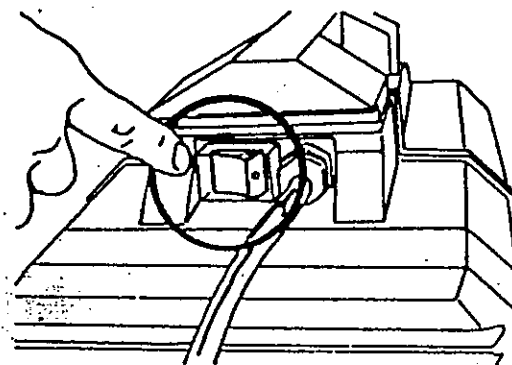
15A×2
20A×2

※電源コードを延長される際、コードリールで使用される時は必ずコードリールのコードは全て延ばして下さい。（コードを延ばさずに使用されますとコードが異常加熱する恐れがあります。）

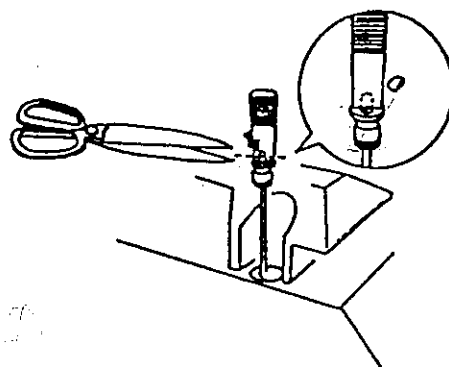
- ⑩吸入ホースには必ず、付属のカップリングと吸入フィルターを取付け、ポンプに接続して下さい。
- ⑪このポンプは自吸タイプではありません。給水は必ず水道から行って下さい。

4. 使用方法

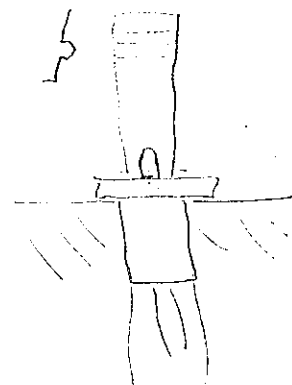
- 1 スイッチがOFFである事を確認して下さい。



- 2 オイルレベルゲージのプラグをハサミ等で切り取って下さい。切り取るのを忘れになるとオイルの温度が上がってポンプが傷みます。

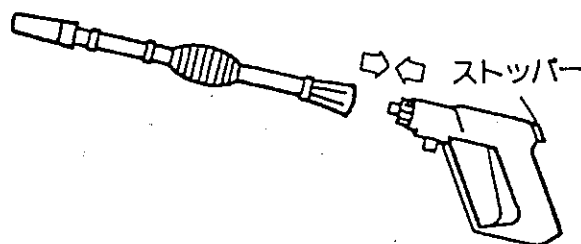


抜ているツメは取り除いて下さい。



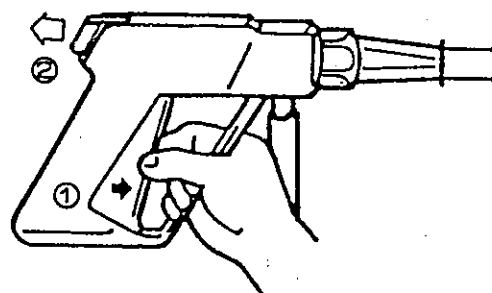
- 3 ホースの接続

ノズルをガンに接続して下さい。ゆるみがない様に手できつく締めて下さい。この時、ガンの安全ストッパーがきいて、ガンのレバーが動かない様にして下さい。

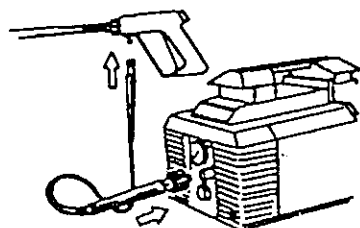


ストッパーの使用法

- ・ガンのストッパーをかける時は
- ①ガンのレバーを矢印の方へしっかり引いておいて
- ②ストッパーを引っぱって下さい。

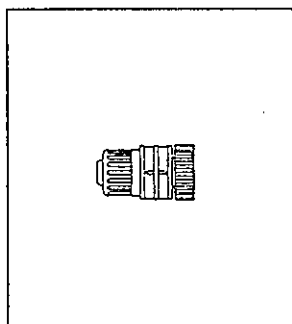


- 4 ガンに高圧ホースを接続し、高圧ホースの反対側を本機の吐出口にねじ込んで下さい。ゆるみがない様にきつく締めて下さい。

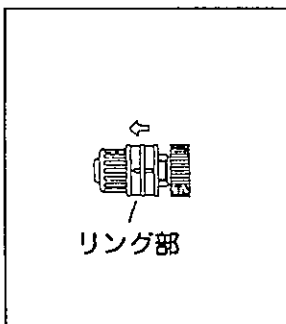


- 5 吸入ホースにワンタッチカップリングをセットして下さい。

①

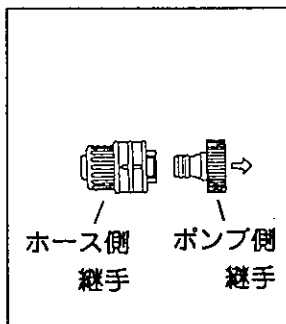


②



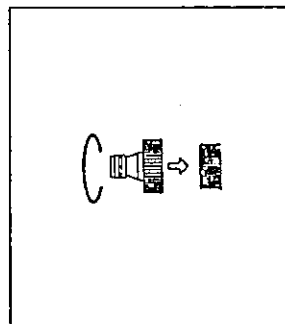
- リング部を矢印の方向に動かします。

③



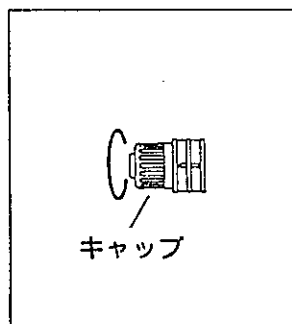
- ポンプ側継手とホース側継手を分離します。

④



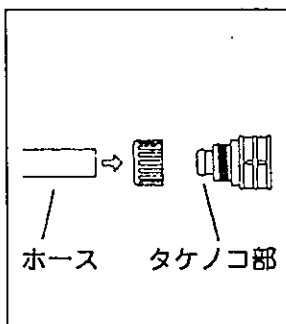
- ポンプ側継手をポンプ吸入口にねじ込みます。

⑤



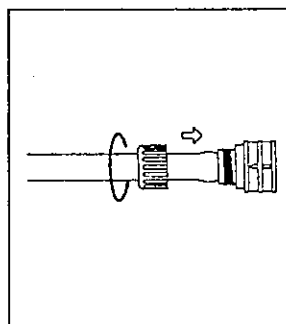
- ホース側継手のキャップを取り外します。

⑥



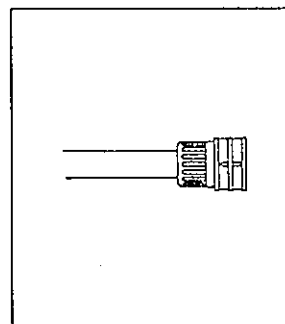
- キャップにホースを通し、ホース側継手のタケノコ部に差し込みます。

⑦



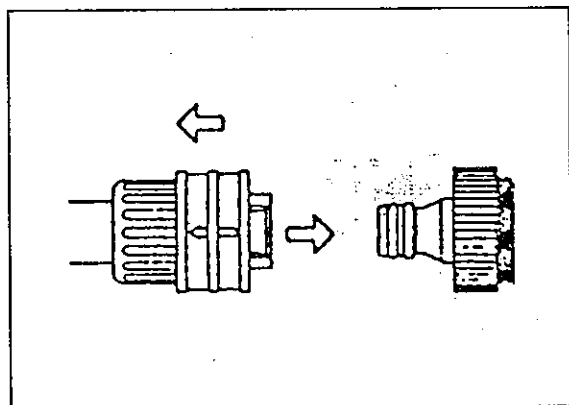
- キャップをホース側継手にねじ込みます。

⑧



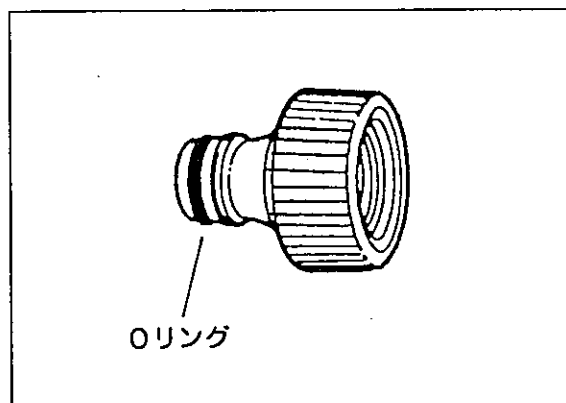
注意 ポンプ側継手にフィルター付パッキンが付いている事を確認して下さい。

- 6 吸入ホースがセットされたホース側継手を、ポンプ吸入口にセットされたポンプ側継手に取り付けて下さい。



○リング部を矢印の方向に動かし、ポンプ側継手に差し込みます。

注意

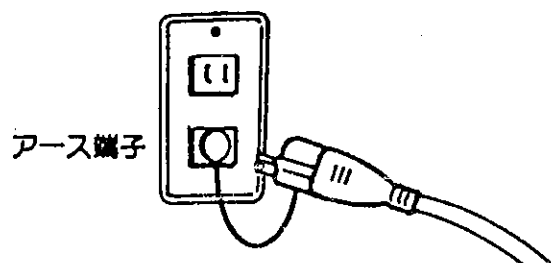


○Oリングに砂等が付かないように、して下さい。

- 7 吸入ホースの反対側を水道の蛇口につないで下さい。水もれがないように、ホースバンドでしっかり締め付けて下さい。

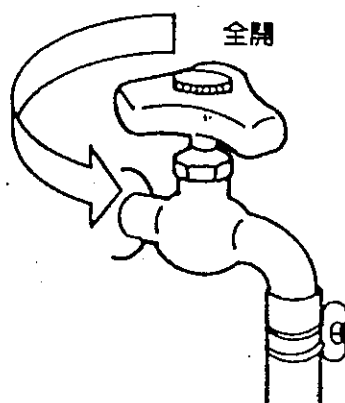


- 8 アース線（緑色）は必ず接地（アース）して下さい。

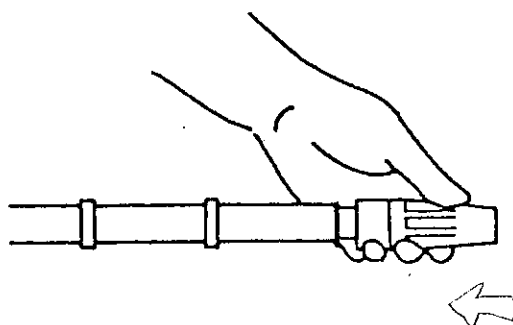


- 9 水道の蛇口を全開にして下さい。水量が少ないと、圧力が上がらない場合があります。

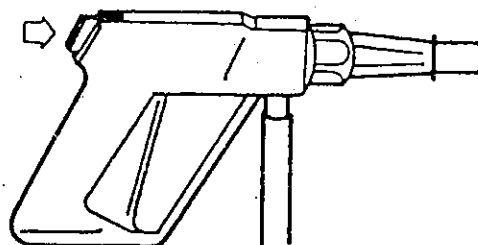
注意！ 電源スイッチを入れる前に必ず水を出して下さい。



- 10 ノズルの先端を矢印の方向に動かして下さい。(低圧側)



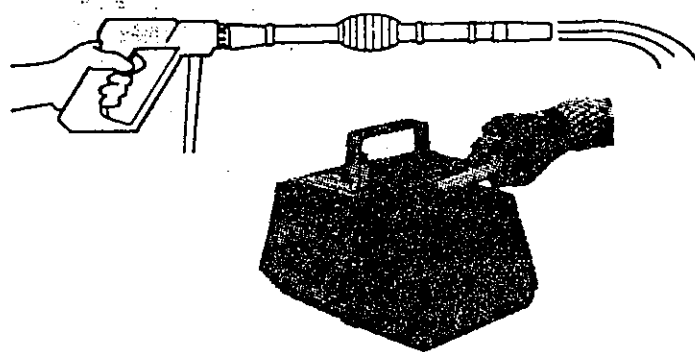
- 11 ガンの安全ストッパーをはずして、レバーを握って下さい。ノズルの先端より、空気の混じりがなくなるまで水を出して下さい。



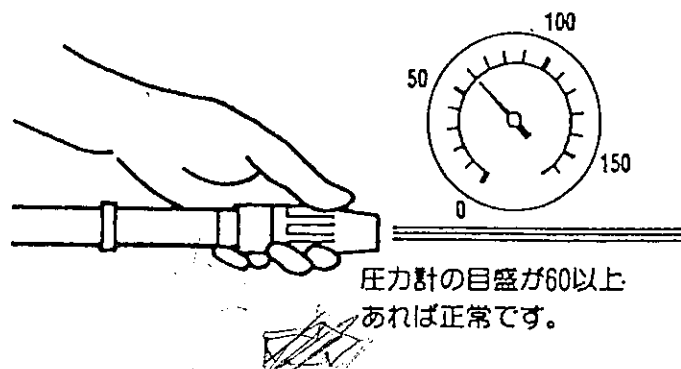
○ホースの中の空気を抜く為に、ガンのストッパーをはずし、ガンのレバーを握って下さい。ノズル先端から水が出るまでに約30秒かかります。ホース内の空気が完全に抜けるまで通水して下さい。

12 レバーを握って、水を出したまま、本機のスイッチを入れて下さい。

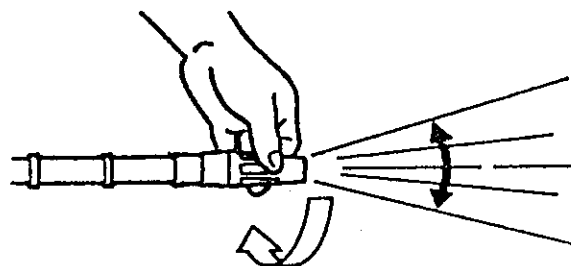
注意！ レバーを握らないで、スイッチを入れますと、過電流が発生し、ヒューズ切れやブレーカーが作動する場合があります。



13 ノズルの先端を矢印の方向に動かして下さい。圧力が高くなります。



14 ノズルの先端を矢印の方向にまわすと、噴射角度が広がります。



使用方法とその他の注意

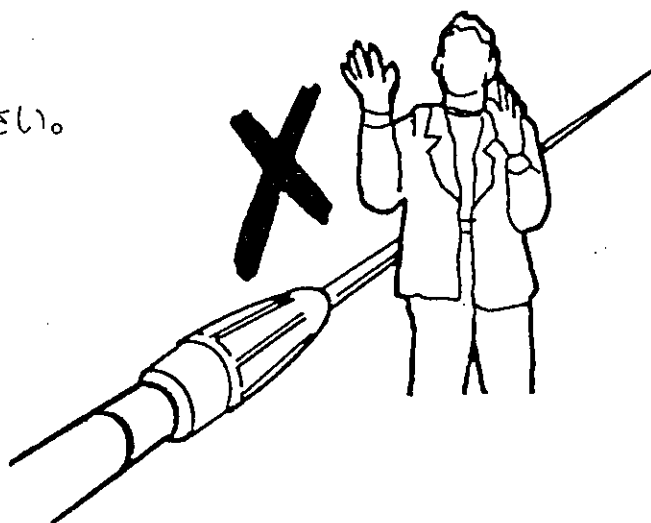
- 15 噴射中にガンのレバーを放すと、ポンプ内のバイパス機構が働いて、圧力が上がらない様になっています。

危険！ バイパス機構には、絶対に手を触れないで下さい。

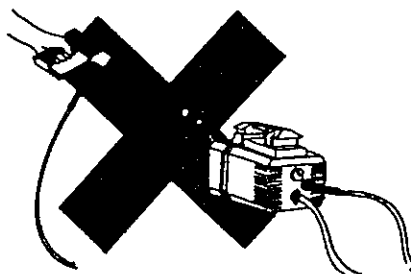
バイパス機構は安全装置となっておりますので、誤動作するとケガを負う恐れがあります。

その他の注意

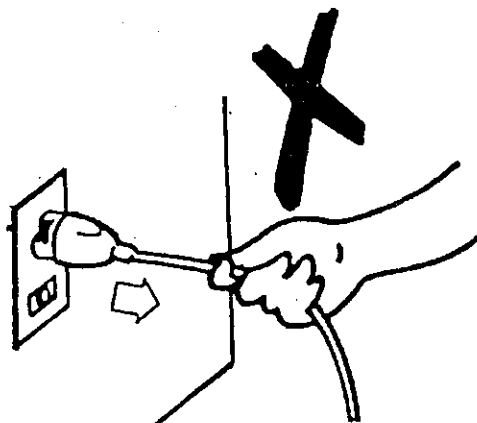
- 1 ノズルは絶対に人に向けないで下さい。
高圧水流により、ケガをします。



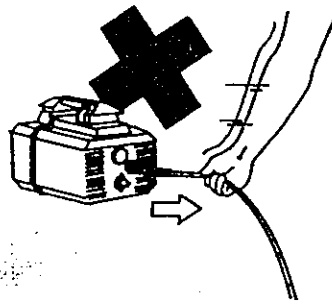
- 2 この洗浄機本体や他の電気製品に噴射しないで下さい。ショートしたり、他の損傷を起こします。



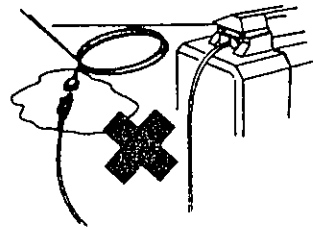
- 3 プラグを抜く時にコードを引っばらないで下さい。



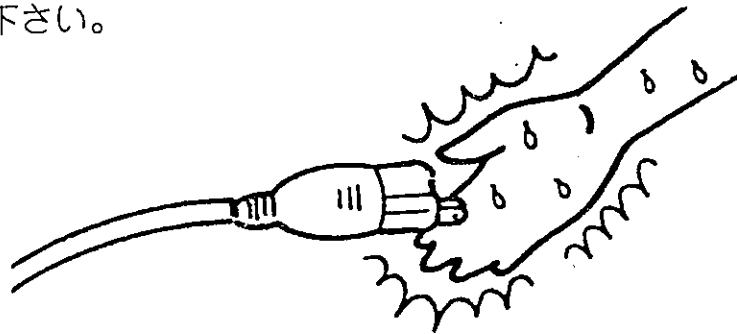
- 4 本機を動かす時に高圧ホースを引っばらないで下さい。



- 5 延長コードを使用される時は、接続部分が地面につかない様にして下さい。水がかかって、ショートや漏電の原因となります。



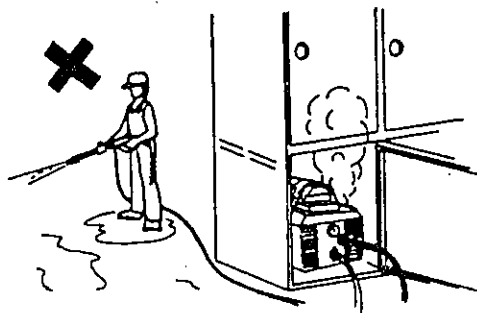
- 6 分解する時は、必ずプラグを電源から抜いて下さい。又、濡れた手で、プラグをさわらないで下さい。



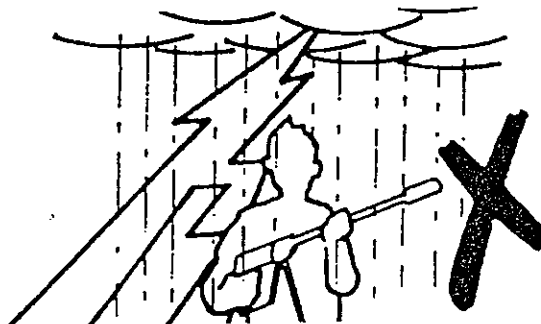
- 7 ガラス・石膏ボード・モルタル・簿ベニア板・シール等は至近距離で噴射すると損傷する恐れがありますので30cm以上離して御使用下さい。

- 8 通気の悪い所に本機を置いたり、本機の上に布等でカバーをかけないで下さい。
モーターの温度が上がります。

モーター保護のため、一定温度以上になるとモーターを停止させる回路（サーマルプロテクター）が内蔵されています。停止した場合には、スイッチを切って、モーターが冷えてから再指導して下さい。（10～15分を目安として下さい）



- 9 雨の降っている時や、雷の鳴っている時には、絶対使用しないで下さい。



- 10 ポンプ内の凍結を避ける為、0℃以下の所には保管しないで下さい。

又、使用後は、ポンプ・ホース内の水抜きを十分に行ない、ホース類は本体より取りはずして保管して下さい。



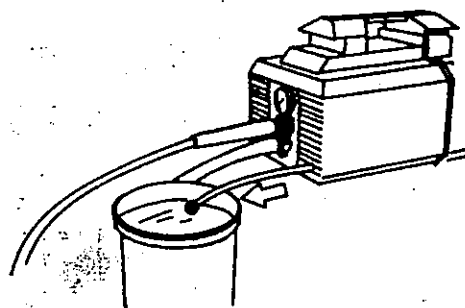
- 11 不安定なところでは使用しないでください。

- 12 運転中はポンプを移動させないで下さい。やむをえず、移動する時は必ずスイッチを切って下さい。

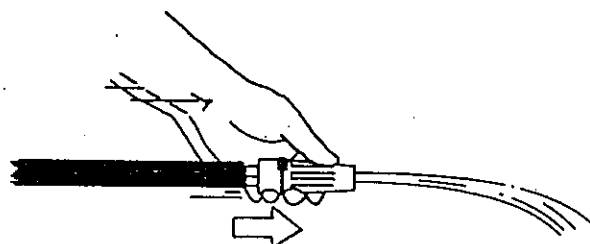
- 13 注意ラベル A・B や銘板が見えにくくなったり、はがれたりした場合はすぐに貼りかえて下さい。

5. 洗剤の噴霧方法

- 1 洗剤吸入口のストレーナーを本機より引っぱり出して、洗剤の容器の中に入れます。



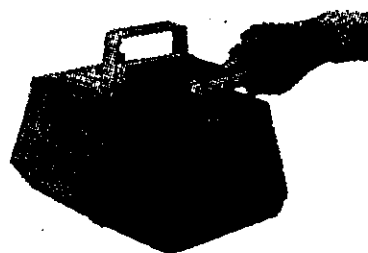
- 2 ノズルの先端を矢印の方向に引っ張って、低圧状態にして使用して下さい。
※高圧の噴射状態では、洗剤は吸い上がりません。



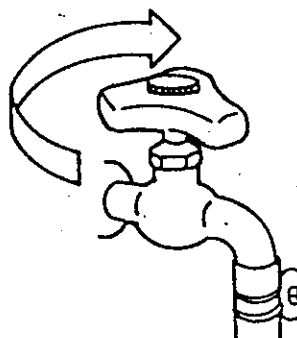
- 3 洗剤を使用した後は、洗剤吸入口のストレーナーを清水につけて、1分以上運転し、ポンプ内を洗って下さい。
- 4 洗浄には、市販の洗剤（自動車用洗剤・台所用中性洗剤）を使用して下さい。
酸・アルカリ等の洗剤は使用できません。また、溶剤・薬品・油等は使用しないで下さい。事故や故障の原因になります。

6. 使用後の注意とその他の注意

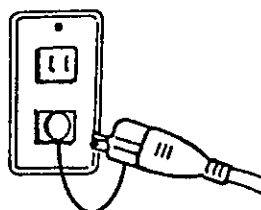
- 1 本機のスイッチを OFF にします。



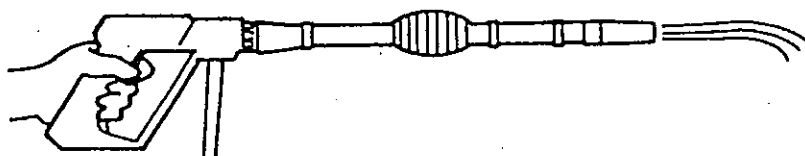
- 2 水道の蛇口をしめます。



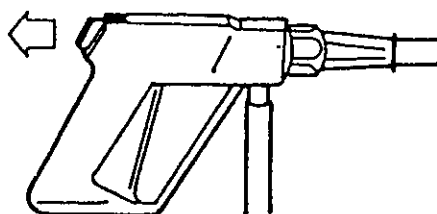
- 3 電源からプラグを抜きます。



- 4 ノズル先端より、水が出なくなるまで、ガンのレバーを握って下さい。



- 5 安全の為にガンのストッパーをかけて下さい。

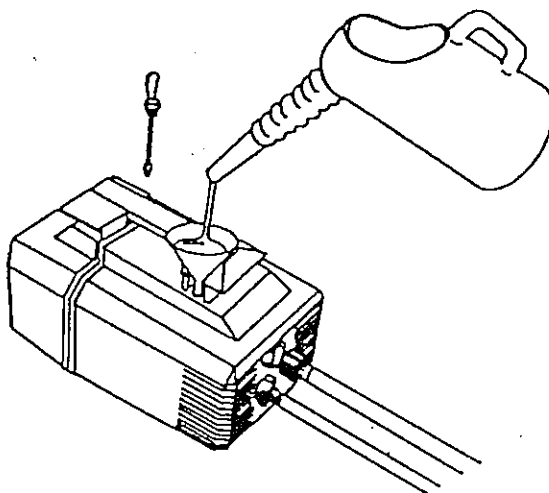


その他の注意

1 オイルの確認と交換

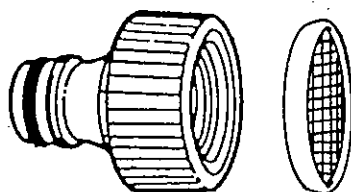
- (1)工場出荷時には、オイルが入れてあります。
- (2)運転時間20時間目に最初のオイル交換をして下さい。
- (3)以後は、120時間ごとにオイル交換をして下さい。
- (4)上記より運転時間が短い場合でも、年1回はオイル交換を必ず行なって下さい。
- (5)使用オイルは、SAE20～30相当品（ISO VG49～100）で、200cc入れて下さい。
- (6)オイル交換は、オイルレベルゲージを抜き、本体を逆さまにしてオイルを抜いて下さい。

注意！ 抜き取ったオイルは正しく廃油処理を行って下さい。



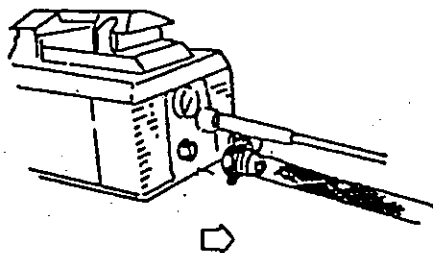
2 フィルターの掃除

- (1)ワンタッチカップリングのフィルターは、定期的に掃除して下さい。
- (2)異物がつまっていますと、圧力が上がらなかったり、水を吸い上げなくなります。

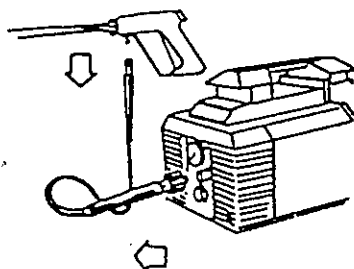


7. 保管方法

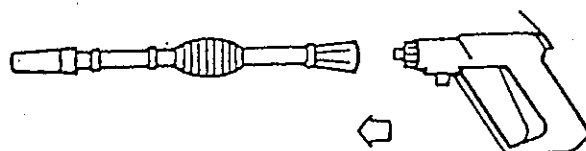
- 1 吸入ホースをポンプからはずします。



- 2 水道の蛇口につないでいる吸入ホースをはずします。ホース内には水が残っているので、ホース内の水は抜いて下さい。
- 3 ポンプから吐出ホースをはずします。吐出ホースとガンをはずします。吐出ホースとガンには水が残っているので、水は抜いて下さい。



- 4 ノズルをガンからはずして下さい。



- 5 ポンプ・吐出ホース・ガンは箱に入れて保管して下さい。

注意！ 吸入ホースを保管する時は、吸入フィルターを大切に保管して下さい。

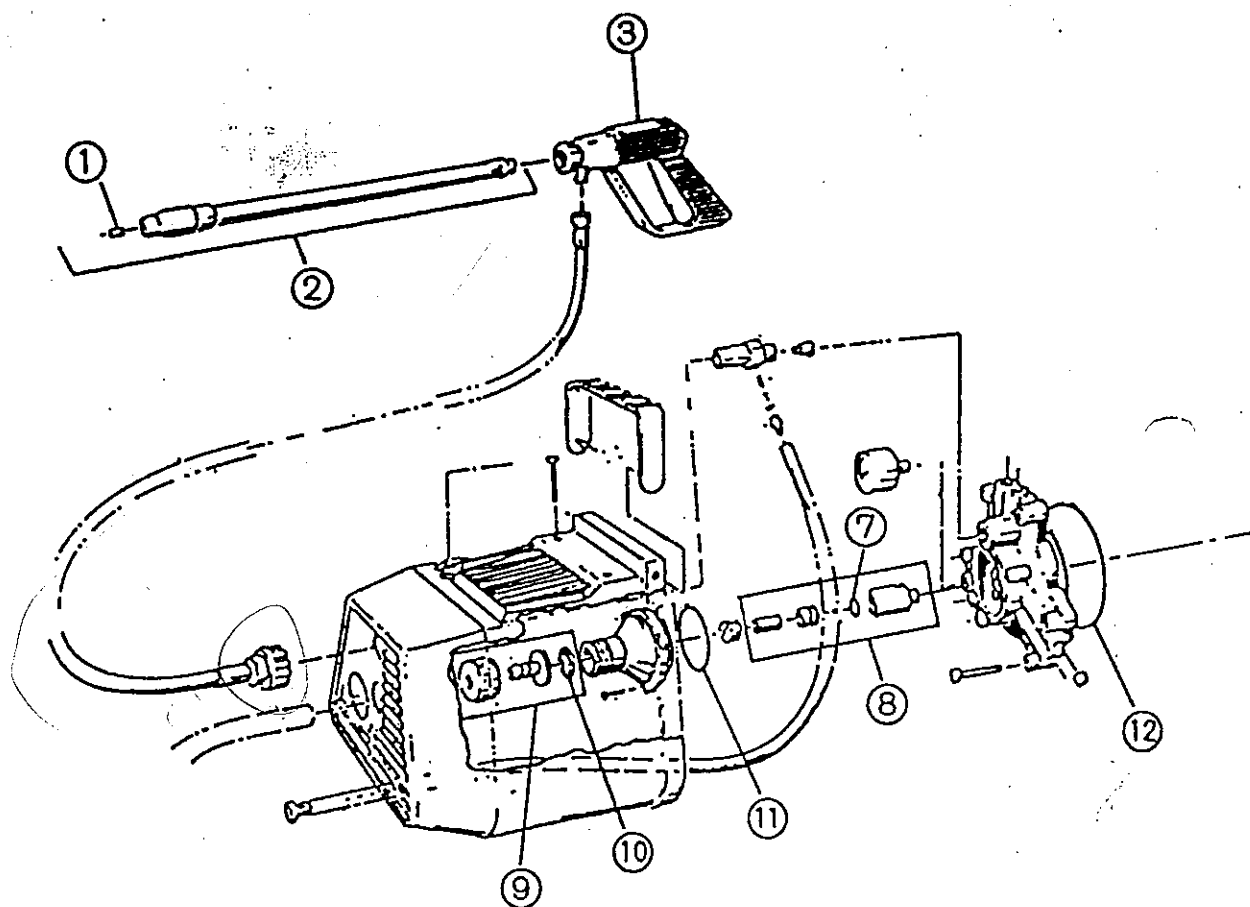
8. 故障と処置

故障内容	考えられる原因	処 理
噴射圧力が上がらない	吸入カップリングのフィルターが詰まっている	フィルターの清掃
	接続部から空気を吸っている	各接続部を締め直し フィルターの確認
	水量が少ない	蛇口を全開にする
	ホース内、ポンプ内にエア（空気）が残っている	しばらく低圧側にして水を出し十分に エア抜きを行なう
	Oリング・オイルシールの破損	交換
	ノズル先端が破損	交換
噴射圧力が一定しない	ホースの接続部から空気を吸っている	各種接続部を締め直し
	水量が少ない	蛇口を全開にする
	ホース内・ポンプ内にエア（空気）が残っている	しばらく低圧側にして水を出し十分に エア抜きを行う
	Oリング・オイルシールが破損している	交換
	バイパス不良	点検・修理
スイッチを入れても動かない	電源コードの接続が悪い	点検
	電圧降下をしている	延長コードを規定のコード長さ・太さ に変更
		分岐コンセントによる他器具との併用 をしない
	モーターの温度が上がって自動停止している (サーマルプロテクター作動)	モーターの温度が十分に下がってから 再始動
オイルに水が混じっていて圧力が 上がらない	Oリング、オイルシールが破損している	交換及びオイル交換
ポンプから異音がる	ホースの接続部から空気を吸っている	各接続部を締め直し フィルターの確認
	吸入水温度が高すぎる	水温度を45℃以下にする
ヒューズが切れて止まる ブレーカーが作動する	電圧降下をしている	延長コードを規定のコード長さ・太さ に変更
		分岐コンセントによる他器具との併用 をしない
	バイパス不良	点検・修理

3/5

注意 ご自分で分解・修理は、絶対にしないで下さい。点検・修理は販売店又は最寄りの弊社サービス工場へ御依頼下さい。

9. パーツリスト



No	部品番号	部 品 名	個数	規 格	No	部品番号	部 品 名
1	0590001	ノズルスクリュー	1		9	0340876	ワンタッチカッ
2	0598001	ノズルクミ	1		10	0590008	吸入フィルター
3	0590002	ガン	1		11	0590200	吸入フランジパ
4	0590004	Oリング	6	2050	12	0590128	Oリング
5	0598002	バルブクミ	6		13	0590129	Oリング
6	0590005	Oリング	2	2037	14	0590131	オイルシール
7	0590126	Oリング	1	3043	15	0590130	Oリング
8	0598009	バイパスクミ	1		16	0590132	Oリング



株式
会社 **工進**

〒617 京都府長岡京市神足上八ノ坪12